

令和7年度 雀宮中央小学校 学校評価書（計画）

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

（1）基本目標

自主・自立の精神と豊かな心をもった，心身共に健康な児童の育成

【重点目標】よく考える よく話す よくきく

（2）具体目標

- 明るく元気でがんばる子ども（元気）
- 進んで学びよく考える子ども（やる気）
- 心豊かで思いやりのある子ども（思いやり）

合言葉 「元気 やる気 思いやりのある 雀央っ子」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

学校は，児童にとって安心かつ安全な場所，楽しく前向きなエネルギーをもった場所でなければならない。児童は，ありのままの自分が受け入れられているという安心感の中で自己の存在感を感じ、互いに切磋琢磨して自己を成長させ、困難に負けない強さを身に付けていくことができる。そして，未来に向かって夢をもち，道を切り開いていく力を蓄えることができる。

また，学校は，学びの面白さを実感できることなくしてはならない。児童は，主体的・対話的な学びを通して，分かる楽しさや自己の力の向上に気付いていく。

そのために，教職員が，常に前向きな姿勢で職務に取り組み，児童一人ひとりと向き合い，互いにチームとして支え合い，絶えず研修に励んで専門性を高めて授業力を向上させるとともに，保護者や地域住民と連携し，信頼関係の下，共に子供たちを育てていくことのできる学校づくりを目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- （1）知・徳・体の調和を図りながら，社会に開かれた教育課程を編成して資質・能力を育み，学校教育目標の実現に努める。
- （2）児童がよさや可能性を発揮したり協働したりできる，行きがい・居がいのある学校づくりに努める。
- （3）職員が日々の研究と修養に努めることを推進するとともに，同僚性と自律性を基盤にした職場づくりに努める。
- （4）地域学校園内の小中学校との連携を深め，義務教育9年間を見通した系統的・継続的な指導の充実に努める。
- （5）地域と共にある学校づくりを推進し，家庭・地域・関係機関との連携協力体制の強化に努める。
- （6）業務の改善と勤務時間を意識し，それぞれが自己の働き方をマネジメントし，全校体制で働き方改革を推進する。

【雀宮地域学校園教育ビジョン】

一人一人が自らのよさを自覚し，主体的に学ぶ児童生徒の育成
～生き生きとした活動を通して人とつながる～

4 教育課程編成の方針

(1) 基本方針

- ・ 児童の心身の発達段階の特性及び学校や地域の実態を考慮して編成を行う。特に地域の人的、物的な教育資源および環境を把握し、教育活動の中に積極的に取り入れる。
- ・ 地域学校園教育ビジョンを目指す教育課程となるよう、9年間の学びの連続性を考慮した編成を行う。

(2) 留意点

- ・ 体験的な学習や問題解決的な学習の一層の充実を図る。
- ・ 一人一台端末及びその他のICT機器を積極的に活用した授業実践を積極的に行う。
- ・ 各種学力調査の結果を生かし、指導の改善を通して学力向上に努める。
- ・ インクルーシブ教育の充実に向け、学校全体で特別支援教育を推進する。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校運営

- ・ 児童一人ひとりの自己実現（社会的自立）を目指した学業指導の充実を図り、心理的安全性の高い学校づくりを目指す。
- ・ 障害の有無にかかわらず、個々の違いを認識しつつ、様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基礎を培う。
- ・ 児童の育成について、家庭・地域と思いを一つにした信頼される学校づくりの推進。
- ・ 地域協議会や関係機関及び団体等と連携し、地域の教育資源を生かした活動や幅広い人材の活用を行う地域と共にある開かれた学校をつくる。
- 地域学校園教育ビジョンを共有し、9年間を見通した「宮・未来キャリア教育」の推進。
 - ・ 全教職員が必要な情報を共有し、互いの要請に応え合えるチームづくりを強化する。
 - ・ 業務の改善と勤務時間を意識し、それぞれが自己の働き方をマネジメントできる職員室づくり。
 - ・ 教職員と児童がゴールを共有して教育活動を展開する「雀央っ子が今年がんばること」を実施。（年間2回PDCAサイクルの実行）。

(2) 学習指導：やる気

- ・ 見通しを立てて主体的に学習に取り組み、課題を解決しながら自分の学びを深めていこうとする児童の育成。
- ・ ねらいを明確にし、児童が自ら目標を設定することにより学ぶ意欲をもてるようにする。
- ねらいを実現するため、個別最適な学び・協働的な学びの充実を目指した授業づくりに努める。
 - ・ 授業の終わりに、ねらいが実現されたかどうかを振り返る時間を確保し、評価が次の授業改善に生かされ、確実に学習内容が定着していくよう指導の充実を図る。
 - ・ 各教科で身に付けた資質・能力を活用・発揮できるよう、教科等横断的な視点に立つ授業計画。

(3) 児童生徒指導：思いやり

- ・ 自ら考え、思いを伝え合い、自分も相手も大切にして互いを認め合うことができる児童の育成。
- ・ 認め・褒め・励ます指導を行い、自信や自己肯定感・自己有用感を育む。
- ・ 新たな不登校を生まないために、児童への指導・支援方針について教職員全体で共通理解し、チーム支援の充実を図る。
- ・ 一人ひとりの特性や困難さに応じた適切な指導を行う。
- ・ いじめの解決に向けて自主的な行動を促す機会や場を設定する。
- ・ ネットトラブル等の未然防止のため、主体的に判断しインターネットを適切に使用できるよう指導を行う。
- 教育活動全体を通じた「宮っ子心の教育」の推進と道徳の授業の充実を図る。

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）：元気

- ・ 生涯に渡って心身ともに健康で安全な生活を送るために、自ら考え行動できる児童の育成。
- ・ 運動に親しみ、運動量を確保する活動の工夫。
- ・ 健康を脅かす様々な要因の理解と、健康を管理する能力の育成。
- 食事の重要性や栄養バランス等、望ましい食習慣の定着を図る指導の充実。
 - ・ 危険を予測し、自身の安全を守るための判断力や実践力の育成。

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標(小・中学校共通, 地域学校園共通を含む)

※「主な具体的な取組の方向性」には, A**拡充** B**継続** C**縮小・廃止**を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は, 文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価									
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>A 1 児童は, 他者と協力したり, 必要な情報を集めたりして考えるなど, 主体的に学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は, 学習課題を解決するために, 友達と話し合ったり, 必要な情報を集めたりしながら, じっくり考え, 進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 児童が主体的に学習に取り組む手立てを, 全学級で行う。 (1)ねらいが明確で, 実生活に関わる教材の提供により, 学ぶ意欲がもてる授業の工夫 (2)ねらいの実現に向け, 協働的解決のための時間を確保し, 対話的に学び合う授業の工夫 (3) インターネットや図書等の資料の効果的な活用</p>		【達成状況】									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1043 472 1139 555">児童</th> <th data-bbox="1139 472 1254 555">教職員</th> <th data-bbox="1254 472 1369 555">保護者</th> <th data-bbox="1369 472 1498 555">地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				児童	教職員	保護者	地域住民					
	児童	教職員		保護者	地域住民								
【次年度の方針】													
1- (2) 豊かな心を育む教育の推進	<p>A 2 児童は, 思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は, 誰に対しても, 思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「児童は, 誰に対しても, 思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 道徳の時間の指導を要として, 思いやりのある豊かな心情を育成する。また, 互いのよさを認め合える場面を意図的に設定していく。 2 縦割り班による児童会活動や清掃活動をはじめ, 異学年集団による活動を取り入れ, 上級生が下級生の面倒をみることを通して, 思いやりの心が醸成されるようにする。</p>		【達成状況】									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1043 1032 1139 1115">児童</th> <th data-bbox="1139 1032 1254 1115">教職員</th> <th data-bbox="1254 1032 1369 1115">保護者</th> <th data-bbox="1369 1032 1498 1115">地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				児童	教職員	保護者	地域住民					
	児童	教職員		保護者	地域住民								
【次年度の方針】													
	<p>A 3 児童は, 目標に向かってあきらめずに, 粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は, 目標に向かってあきらめずに, 粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「児童は, 目標に向かってあきらめずに, 粘り強く取り組んでいる。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 目標を立て, 自分自身を振り返ることができる活動を効果的に行う。 (1)各種検定表におけるめあて・振り返りの記入 (2)宮・未来キャリアパスポートの活用 (3)委員会やクラブ活動の振り返りカードの活用 2 学校で児童が粘り強く取り組んでいることを学校便りや学年便りを通して保護者に知らせる。</p>		【達成状況】									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1043 1554 1139 1637">児童</th> <th data-bbox="1139 1554 1254 1637">教職員</th> <th data-bbox="1254 1554 1369 1637">保護者</th> <th data-bbox="1369 1554 1498 1637">地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				児童	教職員	保護者	地域住民					
	児童	教職員		保護者	地域住民								
【次年度の方針】													

1-(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	<p>A4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 交通安全教室や避難訓練を計画的に実施することにより、危険予測や危機を回避する意識の高揚を図る。</p> <p>2 保健だよりや児童指導だより、食育だよりといった各種便りの配付により、健康や安全に関する意識を高める。</p> <p>3 保健指導教材を活用し、各クラスにおいて発達段階に応じた指導を行い、健康や安全に対する意識を高める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【次年度の方針】</p>	児童	教職員	保護者	地域住民				
	児童	教職員	保護者	地域住民							
1-(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	<p>A5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、自分の良さや考えを生かしたり、周りとの協力し合ったりして、進んで生活をよりよくしようとしている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「児童（生徒）は、互いの良さを生かしながら、進んで意見を発表したり、協力したりして、集団での課題を解決している。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 学校生活において、自己の成長に気付かせるとともに、友達や社会と進んで関わろうとする力の育成を図る。</p> <p>2 宮・未来キャリア教育年間指導計画に基づき、夢や目標の実現意欲を高めたり、勤労観・職業観の育成を図ったりする。</p> <p>3 委員会活動や学級の係活動や、学校行事等の様々な活動に、粘り強く取り組ませる。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【次年度の方針】</p>	児童	教職員	保護者	地域住民				
児童	教職員	保護者	地域住民								
2-(1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	<p>A6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、外国語活動（英語）の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 教員とALTの打合せを綿密に行い、ALTを効果的に活用した授業が展開できるようにする。</p> <p>2 ALTと日常的に触れ合える機会を増やす。</p> <p>(1)各教室での給食 (2)清掃活動への参加 (3)休み時間等での触れ合い (4)クラブ活動への参加</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【次年度の方針】</p>	児童	教職員	保護者	地域住民				
	児童	教職員	保護者	地域住民							
<p>A7 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 生活科や社会科、総合的な学習の時間において、雀宮や宇都宮の良さを学べる授業を展開する。</p> <p>○2「雀宮の日」に合わせて、地域でとれる農産物を多く使用した地域学校園統一献立を実施する。また、郷土に因んだ給食献立（宮っ子ランチ）を実施し、宇都宮でとれる農産物や歴史を紹介するなどして、宇都宮の食文化への興味関心を高め、郷土愛を育む。</p> <p>3 宇都宮の良さを理解できるように宇都宮学の年間指導計画に基づき、指導の充実と周知を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【次年度の方針】</p>	児童	教職員	保護者	地域住民					
児童	教職員	保護者	地域住民								

2- (2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A8 児童は、デジタル機器 や図書等を学習に活用し ている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、パソコンや図書等を 学習に活用している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 各教科の授業において、パソコンや実物投影機、プロジェクターなどを効果的に活用した授業を計画的に展開する。 2 学校図書館司書や南図書館と連携を図り、学習に図書を活用できる環境を整える。 3 プログラミング教育など、ICT機器を使用する学習を計画的に実施する。 4 一人一台端末や図書等を使っていく中で、正しい情報を選択したり、適切に活用したりするなどの情報モラルの育成を図る。	【達成状況】	児童	教職員	保護者	地域住民
2- (3) 持続可能な 社会の実現 に向けた担 い手を育む 教育の推進	A9 児童は、「持続可能な 社会」について、関心をも っている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、「持続可能な社会」 について、関心をもっ ている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 社会科や家庭科、総合的な学習の時間、委員会活動の指導を通し、SDGs等、環境問題への意識を高める。 2 小学校段階での「持続可能な社会」を目指すための課題について確認し、児童の発達段階に応じた指導を展開する。	【達成状況】	児童	教職員	保護者	地域住民
3- (1) インクルー シブ教育シ ステムの充 実に向けた 特別支援教 育の推進	A10 教職員は、特別な支援 を必要とする児童の実態 に応じて、適切な支援を している。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 児童指導委員会などの機会を通して教職員間の情報共有を図り、校内支援委員会などの機会を活用して指導の方向性を明確にし、教職員が同一の歩調で支援できるようにする。 2 外部の関係機関との連携を密接に行っていく。 3 個別の支援計画や個別の指導計画をもとに各児童の実態に応じた指導の充実を図る。	【達成状況】	児童	教職員	保護者	地域住民
3- (2) いじめ・不 登校対策の 充実	A11 教職員は、いじめが許 されない行為であることを 指導している。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、いじめが許され ないことを熱心に指導して くれる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 児童指導委員会などの機会を通して教職員間の情報共有を図り、校内支援委員会などの機会を活用して指導の方向性を明確にし、教職員が同一の歩調で支援できるようにする。 2 外部の関係機関との連携を密接に行っていく。 3 個別の支援計画や個別の指導計画をもとに各児童の実態に応じた指導の充実を図る。	【達成状況】	児童	教職員	保護者	地域住民
	A12 教職員は、不登校を生 まない学級経営を行って いる。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、一人一人を大切 にし、児童がともに認め励 まし合うクラスをつくって くれている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 全校体制による組織的ないじめ防止策の推進を図る。 (1)いじめゼロ強調月間での取組 (2)学校だより・児童指導だより等を活用したいじめ撲滅推進のための各種取組の積極的な発信 (3)学校生活アンケートによる「いじめ」の早期発見・早期対応	【達成状況】	児童	教職員	保護者	地域住民

<p>3-(3) 外国人児童 生徒等への 適応支援の 充実</p>	<p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、児童の悩みに寄り添い、相談に乗ったり、問題の解決に努めたりして、児童生徒が明るくいきいきと学校生活を送れるようにしている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上 「学校行事等において、様々な立場の児童が、互いを尊重し合って活動を行っている。」 ⇒地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>○1児童のよさを認め、称賛したり励ましたりする指導を心がけることで、児童の自己肯定感を高める。</p> <p>2 児童全員との教育相談期間「おしゃべりタイム」を実施する。</p> <p>3 校内支援委員会を随時開催し、困り感を感じている児童に対しては、個に応じた適切な支援をしていく。</p> <p>1 学年・学級経営計画に基づいた、意図的・計画的な指導を通して、明るく、一人一人を大切にす学級づくりを目指す。 (1)人権週間での取組 (2)Q-U検査の効果的な活用 (3)共遊の時間（ロング昼休み）の実施 (4)係活動など自発的な活動の実施</p> <p>2 児童の自己肯定感や自己有用感を高めるために、ピカイチカードを積極的に活用する。</p> <p>3 児童会活動や学校行事の工夫・改善を通して、児童の主體的な活動の場を確保し、楽しく、活気あふれる学校づくりを目指す。 (1)縦割り班活動の工夫・改善 (2)行事運営への児童の参加促進 (3)各種たよりやホームページ等による情報発信</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	児童	教職員	保護者	地域住民				
児童	教職員	保護者	地域住民								
<p>3-(4) 多様な教育的 ニーズへの 対応の強化</p>	<p>（この欄は上記A13と重複するため省略）</p>	<p>（この欄は上記A13と重複するため省略）</p>	<p>【次年度の方針】</p>								
<p>4-(1) 教職員の資 質・能力の 向上</p>	<p>A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「教職員は、児童一人一人が理解できるように教材を工夫するなど、きめ細かな指導をしている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 確かな学力を身に付けさせるための分かる授業作りを推進する。 (1)ねらいとねらいを実現するための手立てが明確な授業、適切な評価と評価が生かされた授業 (2)研究授業や一人一授業の計画的な実践による指導方法の改善</p> <p>2 児童一人一人の学習状況を的確に把握し、個に応じたきめ細かな指導を充実させる。 (1)習熟度別学習や少人数指導、ITなど指導体制の工夫 (2)かがやきルームを活用した個別指導の充実 (3)個に応じた教材の開発・活用</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	児童	教職員	保護者	地域住民				
児童	教職員	保護者	地域住民								
<p>4-(2) チーム力の 向上</p>	<p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 情報の共有・状況の共有を積極的に図り「チーム雀央小」の一員であることをより自覚できるようにする。 (1)ミライムの校内掲示板による毎朝の連絡 (2)ミニ支援委員会・ミニ対策会議の実施</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【次年度の方針】</p>	児童	教職員	保護者	地域住民				
児童	教職員	保護者	地域住民								

4-(3) 学校における働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 各自が出退勤記録を打刻することや、毎月、学校全体で1日、個人で1日、リフレッシュデーを設定することで、効率的な業務遂行及び勤務時間管理の意識化を図る。 2 教職員の負担軽減に向け、前例にとらわれず、スクラップ＆フォーカスを進める。 3 ICTの活用で業務のDX化を推進していく。	【達成状況】			
			児童	教職員	保護者	地域住民
			【次年度の方針】			
5-(1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、地域学校園の小学生や中学生、先生と、授業や行事、掲示物などで交流する活動を行っている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「学校は、小学校と中学校連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	○1地域学校園による「小中一貫教育実施計画」に基づき、中学校との円滑な交流を推進していく。 (1)全体会・各部会・分科会実施 (2)地域学校園「あいさつ運動」(中学生参加)(年2回) (3)「宮っ子チャレンジウィーク」受け入れ(中学生職業体験) (4)地域学校園内小中合同による南図書館清掃 (5)小中一貫の「体育検定」活用 (6)乗り入れ授業実施時期の見直し 2 取組について児童、保護者、地域へ積極的に情報発信を行う。 3 小中一貫便りを本校で作成し(10月・3月)さくら連絡網で保護者に配付する。	【達成状況】			
			児童	教職員	保護者	地域住民
			【次年度の方針】			
5-(2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 地域協議会を通して授業ボランティアを募集したり、予め学校ボランティアを登録しておいたりする。 2 企業や専門家による各種出前授業等を計画的に活用する。 3 ホームページに地域協議会だよりの掲載等を行うことにより、家庭・地域への周知を図る。	【達成状況】			
			児童	教職員	保護者	地域住民
			【次年度の方針】			
5-(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進						
6-(1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 月例の安全点検により、危険箇所の早期把握・早期対応に努める。 2 保護者や利用者へ利用時の注意喚起、危険箇所の表示、AED設置場所、災害時避難方法等の危機対応に関する情報を提供する。	【達成状況】			
			児童	教職員	保護者	地域住民
			【次年度の方針】			

6-(2) 学校のデジタル化推進	<p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、授業（授業準備を含む）や業務に、デジタル※を積極的に活用している。」 ※デジタル…1人1台端末、学校用グループウェア、校務支援システム、デジタル連絡ツールなど ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 全教職員が使用できるクラスルームや授業支援クラウドを積極的に活用して、各教科の授業で使用した教材を共有する。</p> <p>2 各学級その他、クラブ活動や委員会活動でもクラスルームを活用して児童への連絡の伝達・共有を図る。</p> <p>3 ICT支援委員と連携して教材を作成したり、活用の仕方を学んだりしていく。</p>	【達成状況】					
			<table border="1"> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	児童	教職員	保護者	地域住民	
児童	教職員	保護者	地域住民					
小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	<p>B1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>○1 児童会活動を中心に地域と連携し、あいさつ運動の積極的な推進を図るとともに、取組を発信していく。</p> <p>(1)年2回の地域学校園あいさつ週間の取組の充実 (2)児童会、あいさつ隊によるあいさつ運動の展開 (3)教師の率先垂範による日常的なあいさつ指導の推進</p>	【達成状況】					
			<table border="1"> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	児童	教職員	保護者	地域住民	
児童	教職員	保護者	地域住民					
	<p>B2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「児童は、きまりやマナーを守って生活をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 基本的な生活習慣育成の徹底を図るとともに、規範意識を高める指導の充実を図る。</p> <p>(1)「雀央スタンダード」「生活のきまり」に基づいた全校体制による指導の徹底 (2)生活目標の設定による、目標を焦点化した指導の展開 (3)学級活動や道徳の授業の充実、規範意識の向上</p>	【達成状況】					
			<table border="1"> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	児童	教職員	保護者	地域住民	
児童	教職員	保護者	地域住民					
	<p>B3 児童は宿題や自主学習を行う学習習慣が身に付いている。</p> <p>【数値指標】 学校独自アンケート 「児童は、宿題や自主学習などを行う学習習慣が身に付いている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 雀央スタンダードや家庭学習の手引きを活用し、児童の発達段階を踏まえた家庭学習の推進と保護者への協力を図る。</p> <p>2 家庭学習強化週間を7月と11月に実施して、家庭学習アンケートと振り返りカードを活用して確認したり、励ましたりして学習習慣の定着を図る。</p>	【達成状況】					
			<table border="1"> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	児童	教職員	保護者	地域住民	
児童	教職員	保護者	地域住民					
			【次年度の方針】					

<p>B4 児童は、食事の時のマナーをしっかりと守っている。(学校園共通)</p> <p>【数値指標】 学校園共通アンケート 「私は、食事の時のマナーをしっかりと守っている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「児童は、食事の時のマナーをしっかりと守っている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 食育の指導計画に基づいた意図的な指導を通して、児童の食事のマナー向上を目指す。</p> <p>(1)給食時の巡回指導における食事のマナーの指導(食器や箸の持ち方、姿勢、等)</p> <p>(2)食育マナー週間(10月)でのチェックリストの活用及び食事マナーの向上</p> <p>(3)食育だよりやホームページによる学校での取組の情報発信及び家庭での取組の促進</p>	【達成状況】			
		児童	教職員	保護者	地域住民
		【次年度の方針】			
<p>B5 教職員は、資質・能力の向上のため、進んで研鑽している。</p> <p>【数値指標】 学校独自アンケート 「私は、資質・能力の向上のため、進んで研鑽している。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 校内研修の活性化を図る。</p> <p>(1)一人一授業の実践 (2)小グループでの協議を取り入れた授業研究会の実施</p> <p>2 外部研修への参加奨励</p>	【達成状況】			
		児童	教職員	保護者	地域住民
		【次年度の方針】			

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて(学校関係者評価を受けて)

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。